

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31年 2月 20日

事業所名 児童デイサービス あどばんす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		屋外での活動に活かしている	今後も活かしていきたい
	②	職員の配置数は適切である	○			配置数は適切である
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		室内はバリアフリー化されている	玄関に段差があるので、今後の課題としている
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		子供の目線に絵カードで各部屋過ごし安い環境作りをしている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			今後も参画に努めていく
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	保護者会を開催	保護者向けに評価やアンケートを実施していく
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	会報等は発行している	事業所の会報やホームページ等で公開していく
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	口答で意見を頂いた時に改善を行っている	口答だけでなく外部評価にも繋げていく
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		回覧し、参加を促している	今後も確保に努めていく
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			情報収集に努めている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
-----	---	--	---	--	--	--

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			今後も 努めていく
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		季節の行事、自然にふれあう事を中心に考えている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節、成長に応じて固定化しないようにしている	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個々の発達に応じて計画している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		事前に確認をしている	支援内容がスムーズに進むよう努めている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			気付いた点等は話し合い改善に繋げている
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			記録に残し、共有している
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリングの記録に努めている
関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議に保健師等参加。助言を頂いている	助言をもとに支援に繋げている
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健師等助言を頂いている	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		協力医療機関 有	医療的ケアが必要な子供の利用がない

連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		協力医療機関と連携体制を整えている	連絡体制、連携が取りやすい様に自治体でして頂きたい 現在、医療的ケアが必要な子供の利用がない。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		利用毎に行っている	相互理解を図り、努めていきたい
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在、就学前ではないので行っていないが、今後移行支援として情報共有に努めていきたい
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		担当者会議等で意見交換を行い、助言を頂いている	今後も連携に努めていきたい
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		日常では交流している	事業所内でも交流できたらと考えている

保護者への説明責任等	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		今後参加していくよう視野に入れている
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			家族支援プログラムの支援について職員間で話し合い続けていきたい
	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			支援等の説明を行っている
	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			支援時の見学等、保護者参加の活動を促している	必要に応じて 助言と支援に努めている
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会を開催している	保護者同士の連携にも努めていきたい

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			適切に対応できるように努めている
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月会報等、発行している	活動内容、子供たちの様子を発信している
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			十分注意を図るよう周知している
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		年一回、祭り等開催している	開催回数と地域の方々への案内に努めていく
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			対応マニュアル等を策定している 訓練の実施に努めていく
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎年消防訓練を実施	消防士による消防訓練を実施 非常時に備えている
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用される前に保護者の方に確認している	チェックシートに記入して頂き共有している
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	事前にアレルギーの確認をしている	現在、該当者がいない
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録に残している	事業所内の共有に努めている
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修等受講	研修内容を共有 適切な対応に努めている
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			重要事項に記載 事前に説明している